

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



次世代を担う

若者たち

～玉葱の播種作業を行う中島賢人さん～
(紹介は8ページ)

2020.2
No.
555

昨年を上回る高収量

―常呂町玉葱振興会・青年部通常総会―

常呂町玉葱振興会(泉直喜会長)、青年部(今橋賢一郎長)は1月24日、網走市の網走湖荘で玉葱振興会第53回通常総会(会員・来賓合わせ65人出席)、玉葱振興会青年部第48回通常総会(部員・来賓合わせ28人出席)を開きましたので概要を報告します。

同振興会通常総会の開会に先立ち、泉会長は令和元年度産の概況と現在までの事業経過を含めた挨拶を述べました。

来賓に当J.A.川上和則組組長、江田哲副組長、羽石規靖理事、中四国方面の市場担当者(5社)、その他関係機関の方々から出席し、各社から祝辞が述べられ、通常総会が開かれました。



開会挨拶を述べる泉会長

議長には岐阜地区の那須久雄氏が選出され議案審議に移り、会員の皆様からの活発な意見などがありました。全議案共に可決されました。

振興会の総会終了後、引き続き青年部の通常総会が開かれました。開会に先立ち今橋部長の開会挨拶に続き、同振興会の泉会長から祝辞を頂きました。



同日に玉葱振興会青年部の通常総会も行われました

審議の結果、全議案共に可決されました。全ての総会終了後、懇親会を開催し、来賓との意見交換を交えながら盛況下の内に無事終了しました。

また、令和元年度産の玉葱の総反収は6,258 kg/10aとなりました。

原料甜菜平均収量全道1位になる!!

―常呂町甜菜振興対策協議会通常総会―

常呂町甜菜振興対策協議会(植松孝雄会長)は2月6日、J.A会議室で第61回常呂町甜菜振興対策協議会通常総会を開き来賓6人、役員12人が出席しました。

開会に先立ち植松会長より令和元年度の甜菜作況状況の報告を含めた挨拶の後、来賓の当J.A.川上和組組長・日甜美幌製糖所小島洋司所長より祝辞が述べられました。

その後、令和元年度高収量者3名(1haあたりの収量が100tを超える記録を樹立)に植松会長より表彰を行い、続いて日甜常呂原料事務所2名



総会に出席した皆さん

に感謝状の贈呈が行われました。表彰後、植松会長が議長を兼任し議案審議に入りました。

令和元年度事業報告・収支決算書の承認、令和2年度事業計画(案)・収支予算(案)について、原案通り承認されました。

その後、全議案が原案通り可決され総会を終了しました。

令和元年度の原料甜菜の生産実績は全道で平均収量70.74t/ha、糖分は16.8%となり、本町では、平均収量が全道一となる84.15t/ha、糖分は16.7%でした。5月の強風により一部植え直しなど被害がありました。その後の天候が順調だったことや、生産者の努力により全道一という高収量を確保し歴史に残る年になりました。

令和2年度も甜菜の生産や面積増に努めて参りますので甜菜耕作者の皆様のご協力をお願い致します。



開会挨拶を述べる植松会長



総会に出席した皆さん

会長 林 健志(再)
 副会長 佐藤 文彦(再)
 理事 梅田 俊則(再)
 清井 俊幸(再)
 石田 雄三(再)

将来の本町農業における 担い手対策の推進強化

～常呂町農業担い手受入協議会 通常総会開く～

常呂町農業担い手受入協議会(林健志会長)は2月6日、JA会議室で第21回通常総会を開きました。

総会には当JAの川上組合長、北見市常呂総合支所産業

課の所管(所管)係長が来賓として出席し、川上組合長が代表して挨拶を述べました。

議案審議では、拓殖大学北海道短期大学の学生3名の受入や、今後の担い手対策の参考にするために実施した視察研修など、令和元年度事業報告が行われました。

令和2年度事業計画では、昨年に引き続き拓殖短大生の受入や役員を選任が行われ、全議案が承認されました。新役員は次の通り(敬称略)

研修とスポーツを通じ交流を

～JAとこころ青年部

JAとこころ青年部(安藤貴彦部長)は1月14日、端野町公民館で研修会、ポウル北見でスポーツ交流会を開き、部員30人が参加しました。

同研修会・スポーツ交流会は、部員の知識や情報の収集と、スポーツを通しての交流を目的に毎年開催しています。

同研修会は、清尾佳祐書記長が講師となり、JA青年部組織や意義についての講義を

スポーツ交流会開く～

行いました。その後、今後の青年部活動についてグループに分かれ討議を行いました。

また、その後に行われたスポーツ交流会では、グループ対抗のポウリング大会が開催され、ストライクやスペアなどの好プレーが連発し、大いに盛り上がりました。また、ポウリング大会終了後は懇親会が開催され、部員同士の親睦が図られました。

決算書に関する学習会～入門編～

～JAとこころ青年部学習会～

JAとこころ青年部は1月27日、JA会議室で決算書に関する学習会～入門編～をテーマにJAとこころ青年部学習会が開かれ部員28人が参加しました。

同学習会は、当JA営農企画課の木村紘暢係長が講師となり、農業経営をしていく上で必要となる複式簿記の説明がされました。

その後、3グループに分かれ班長から班員に再度複式簿記の説明が行われ、部員間の理解が深められました。

学習会に参加した部員は「自分が経営するまでに決算の知識や簿記の知識を定着させておきたい。今回の学習会を通して以前より理解が深まった」と話しました。



班長から班員に再度説明が行われました



グループ発表を行う馬淵修さん

活発的な総会で新年度始まる!

JAところ女性部通常総会

JAところ女性部(寺町敬子部長)は1月21日、JA会議室で女性部員55人が参加し、第64回通常総会を開きました。

開会に先立ち、寺町部長より「第64回の総会となりました。私たちが今まで何回も総会を重ねてきたことは、過去に先輩たちが色々な思いを今に繋げてくれたということです。十勝の引退された組合長が組合員に向けて残した言葉があります。俺は全国一人ひとりの農民のために一日一日が任期であると決意して仕事をしている。人が社会を作り人が社会を動かす。世の中は人が作り、人と人との出会いによって世の中が作られる。これは女性部活



議案審議をする部員



開会の挨拶を述べる寺町部長

動も同じだと思っています。また、地域のことでも当てはまると思います。最後の一文では農協は素晴らしい交響楽団である。一人ひとりの奏者、即ち組合員・役員・職員・家族が指揮者、即ち組合長の指揮棒に一矢乱れずついていて初めて立派な演奏が出来るのである。農協の運営成果はそうしてあげられるものである。これは組合長としての立場で話しているものですが、自分の立場に置き換えたときに家族であったり身近な友人であったり自分が見んなのためにやっているこうという想いで綴られた言葉だと思っています。皆さんも女性部活動については色々な意見があるかと思いますが、総会の際に忌憚のない意見をいただいてJAところ女性部が益々発展していくことを皆さんと共にこの総会をもって進めて参りたいと思いますのでよろしくお願

す」との挨拶後、当JA川上和則組合長を始めとする3人より温かい祝辞をいただきました。

議長には岐阜地区の林美知子氏が選出され、議案審議に入りました。

令和元年度事業報告の承認に続き、令和2年度事業計画が提案され、全ての議案が原案通り可決されました。

議事終了後には昨年11月に行われた組合員研修「夢さがし塾」に参加した部員より研修内容の報告がありました。また午後より暮らしとヨガsunyaの湊靖代氏を講師に招き「たつむら式指ヨガ」の研修会を行いました。手指のヨガを行うと身体の不調が改善されることから部員たちは熱心にヨガを行っていました。



湊氏(左)と一緒に指のストレッチをする部員の皆さん

今注目のSDGs

「ついで」学び

JAところ女性部(寺町部長)の目的別グループのパソコン部会が1月16日、JA会議室でSDGs(持続可能な17の開発目標)についての講習会を行い、部会員ら9人が参加しました。

講師にはdescribe with代表の高橋優介氏を招き、SDGsとは何かや必要性についてカードを使ったゲームを通して学び、カードに記載された事項について経済・社会・環境の3つの観点から10年後の日本を想定してみました。

参加者は「目標を達成するために力ードの内容を把握せず行った結果、途中で経過で高経済ではあるものの社会や環境が壊滅的になる場面もあった。このSDGsをしっかりと勉強し実践していくことで今後の世界全体が豊かになると思っ」と話しました。



写真上:SDGsについて説明する高橋氏
写真下:カードの内容を考える部員の皆さん

実りある1年へ向け新年度スタート

フレッシュユミセスの集いに21人参加

J Aとくろ女性部フレッシュユミセス部会（林理沙部会長）は、1月23日にJA会議室で部会員21人が出席し「フレッシュユミセスの集い」を行いました。

開会に先立ち、林部会長より部会員の協力のもと1年間の行事が無事全て終了したことの感謝と集いで活発的な

意見交換が行われて欲しいとの挨拶後、来賓として当JA女性部の寺田部長が挨拶を行い、議案審議に入りました。令和元年度活動報告及び令和2年度事業への取組などの全ての議案が全会一致で可決されました。

総会終了後は、特定非営利活動法人JHS（ジャパンハ

新役員が次の通りの選任されました。（敬称略）
 ○部会長 小林 愛子
 （土佐・共立・豊川地区）
 ○副部会長 土田 寛子
 （富丘地区）
 全日程終了後、「北天の丘あばしり湖鶴雅リゾート」に移動し、部会員17人が参加し懇親会が行われました。
 懇親会では、役員考えたゲーム2種と恒例のビンゴ大会などで大いに盛り上がり、部会員同士の交流が深まりました。



研修会終了後参加者全員で記念撮影

作文コンクール最優秀賞受賞!!

J A北海道女性協議会主催の第24回JA北海道女性協議会フレッシュユミセス部会北海道交流集いが1月28日～29日、札幌市「ホテルモントレ」で行われ、当JAフレッシュユミセス部会から林理沙さんと清尾和歌奈さんが出席。1日目に

発表で見事最優秀賞を受賞しました！
 発表された内容は今後、全国の作文コンクールへ応募されます。

行われた「フレッシュ活動」わたしの一步「作文コンクールで清尾さんがオホーツク地区を代表し発表、堂々の



受賞した清尾さん

笑顔で育む絆、次世代へと紡ぐ!

第26回オホーツクJA女性部大会・家の光大会

オホーツクJA女性協議会は2月4日～5日の日程で、第26回オホーツクJA女性部大会・家の光大会を網走市「網走湖荘」で開き、管内の女性部約280人、当JA女性部から12人が参加しました。

講演後は、全体の懇親会が行われ、アトラクションでは6JAの女性部と各地区の女性部長たちによる踊りなどが披露されました。

開会にあたりオホーツクJA女性協議会の黒須倫子会長が挨拶を述べた後、来賓の方から祝辞が述べられました。次に、「25年の時を経て」多くの出会いに育てられて

2日目は「クラフトテープのかご作り」をJAオホーツク網走女性部とオホーツク

A女性協議会役員の方々が講師となり行いました。また、会場内では、各地区の女性部が手作りした加工品や手芸品などが展示されており、当JA女性部富丘支部の石澤園江さん横山知美さんの作品「ストリングアート」が優秀賞を受賞。全道リーダー研修会・家の光大会で展示されることになりました。



参加者全員で女性部綱領朗唱

農作業事故を未然に防ぐために

J Aとこころ（川上和則組合長）は1月21日、J A会議室で女性農業者に向けた農作業安全講習会を行い、女性農業者34人が出席しました。

同講習会はホクレン農業協同組合連合会本所農業機械課技師の家納淳也氏を講師に招き、農作業事故の統計、農作業事故事例、農作業事故防止などについて講演して頂きました。

家納技師は、「農作業事故

は、機械的・人為的・安全管理上などの要因があつて起きます。今回紹介した事故事例を忘れずに日頃の農作業に活かしてもらいたい」と出席者に呼び掛けていました。

出席した女性農業者は「運転席から見づらい場所に立っていることも危険であることを認識しました。早く気付くことができれば大事にならなくて済むこともあるので家族全員で連携をとって仕事を



「ついでに」と話しました。

● 事故事例を写真で紹介していただきました

皆さん
よろしく
お願いします!

新採用 職員紹介

- ①出身地 ②最終出身校 ③趣味・特技
④今後の抱負 ⑤自己PR



門脇 鉄也

昭和49年11月生
(46歳)

- ①津別町
②津別高校
③ドライブ・音楽鑑賞
④1日でも早く仕事を覚え、組合員皆様のお役に立てる様に頑張ります。
⑤高校3年間、弓道を通して得ることができた忍耐力と集中力を活かし多くのことに挑戦していきたいと思ひます。

退職のお知らせ



生産部長
鈴木 英夫

早春の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

この度、私事ではあります。2月末をもちまして定年退職致しました。

昭和53年入組以来、42年の永きに亘り勤めさせて頂きました事は、組合員の皆様をはじめ、役員の方々の温かいご指導とご厚情の賜と心より感謝申し上げます。

この間、金融共済課、販売課を中心に他部署も含め業務を幅広く経験させて頂きました。この経験で学んだ教訓

を糧にして、これからの人生に繋いで歩んでいきたいと思ひます。

農業を取り巻く環境は、時代の変遷とともに、目まぐるしく厳しさを増す傾向にありますが、「常呂農業」を守るため役員が一丸となつて諸問題に対処して頂きますようお願い申し上げます。

最後になりますが、常呂町農業協同組合の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。本当に長い間お世話になりました。

第12回理事会報告〈1月27日開催〉

- ◆就業規則及び関連規程の改正について
 - ◆職制規程の一部改正について
 - ◆「コンプライアンス・マニュアル」の改正について
 - ◆経営定期点検実施要領の一部改正について
 - ◆資金貸付に伴う農協と理事の契約(貸越極度額の設定)について
 - ◆マイカーローンキャンペーン実施に伴う貸付金利率の設定について
 - ◆組合員出資の減口について
 - ◆組合員の出資金譲渡について
 - ◆職制規程の変更について
- ◆令和2年度事業計画の設定について
 - ◆令和2年度事業損益計画の設定について
 - ◆固定資産の取得について
- 〈報告事項〉
- ◆内部監査報告について
 - ◆馬鈴薯作付予定圃場土壌検診(シストセンチュウ)の結果について
 - ◆役員報酬審議会の答申について
 - ◆組合員の加入・脱退について
 - ◆職員の採用・退職について

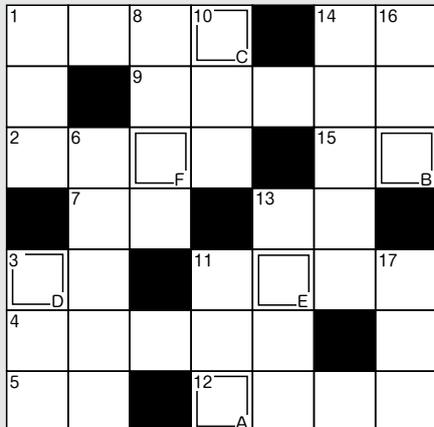
行事予定表

3月1日(日)~3月31日(火)

3月 7日(土)	閉組日	3月20日(金)	春分の日
3月13日(金)	常呂町4Hクラブ通常総会	3月21日(土)	閉組日
3月14日(土)	閉組日	3月22日(日)	農休日
3月17日(火)	第2回定例理事会	3月28日(土)	閉組日

Crossword Puzzle ~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA~Fの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょう？



先月の当選者・解答

2月号のまちがい探しの答えは、「1、5、6、11、12」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございました。

近藤 貴子さん(豊川)
※()内は地区名です。

ヨコのカギ

- ①ひな人形に供える角張った食べ物
- ②守備の反対語
- ③サンとゴの間
- ④兵庫県の郷土料理。地元では卵焼きとも呼ばれます
- ⑤A、B、C……と数えて11番目
- ⑦走ると切れることも
- ⑨京の着倒れ、大阪の○○○○○
- ⑪白井義男は日本人初のボクシング世界○○○○○です
- ⑫骨と骨とをつなぎます
- ⑬白米を量るときに使う単位の一つ
- ⑭父や母の姉妹です
- ⑮○○して得取れ

タテのカギ

- ①成長すると鶏になります
- ③太陽が東から昇る時分
- ⑥車の方向指示器のこと
- ⑧事故などを現場に居合わせて直接見ること
- ⑩工業○○○。○○社会。○○○政
- ⑪地震、雷、火事、○○○
- ⑬真ちゅうやステンレス、はんだなどのこと
- ⑭雑巾を用意して年度末の○○○○をした
- ⑯版画を刷るときに使います
- ⑰旧暦3月の異称です

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、サロマ湖鶴雅リゾートの入浴券(ペア)を1名の方にプレゼントします。

読者の声

★まちがいさがしやクロスワードパズルを楽しくやっています。

(富丘地区・尾角 知春さん)

★各地区の面白い取り組み、活動や料理のレシピなどを教えてほしいです！

(匿名希望)

夫婦が協力して営農すること

～遠藤一也さん・愛さん夫妻がホクレンの営農情報誌「アグリポート」の取材を受ける～

福山地区の遠藤一也さんは、2月10日、ホクレンが全国に配布している「アグリポート」の取材を受けました。

同取材は現在、夫婦で経営している事例を紹介し、事例を通じて、夫婦が協力することで経営に与える好影響を具体的にイメージしてもらうことを目的に行われました。

遠藤農産では、平成25年に当JAが独自で行っている『ところ型家族経営協定』を締結し、夫婦間での営農や生活面に関する取り決めを行い、経営を行っています。

取材中では、奥さんの愛さんが農業を始めた頃の農業用語が理解できず、義父母や一也さんとあまりコミュニケーションが取れなかった時の苦労話から夫婦間で協力することの強み、感謝の想い

などの内容が取り上げられました。

取材の最後に遠藤さんは「家族経営協定では明確に記入しないと実行に移せない部分と明確過ぎるとお互いが疲れてしまう部分があるのでそこを上手く取り決めることができれば良い夫婦経営に繋がると思う。今後の目標は、2人で考えて始めたところピンクにんにく作りに力を入れていきたい。今は、少しでも作業効率・簡便性に繋がることを模索し、周りの農家に広めているところで、再び常呂町のニンニク生産量が日本一になることが目標です」と笑顔で話しました。

同取材の記事はアグリポート24号に掲載される予定です。



取材に答える愛さん(中央)



土壌診断の診断書を見て打合せ



チーズ作りに参加した皆さん



モッツアレラチーズを作る会員

牛やの母ちゃん会の会(梅田陽子代表)は1月28日、岐阜集落センター調理室でモッツアレラチーズ作りを行い、会員ら4人が参加しました。
朝搾乳したばかりの生乳を使用したチーズ作りでは温度やpHなどに細心の注意を払いながら行われ、通常のモッツアレラチーズの他にサクサクとしたモッツアレラチーズも作り出されました。

温めた牛乳に酢を入れ攪拌する作業やお湯の中でチーズを成形する作業などを通して参加者で試行錯誤しながら楽しんで行いました。

温めた牛乳に酢を入れ攪拌する作業やお湯の中でチーズを成形する作業などを通して参加者で試行錯誤しながら楽しんで行いました。

自家製モッツアレラチーズ作り

編集後記

- 玉葱の播種作業が始まりましたね。倉庫やハウス内での作業がほとんどですが、体調管理や怪我には十分気を付けて作業を行いましょう。
- また、新型肺炎が流行し国内の生活用品や食料品に影響がでており、感染拡大も予想されます。新型ウィルスは石鹸での手洗い、アルコール消毒液が有効とのことですので手洗いがいなど最低限の予防に努めましょう。

《営農企画課：広報担当》

次世代を担う

若者たち

玉葱の播種作業を行う中島賢人さん

今月の表紙は、共立地区の中島賢人さん(29)です。齊藤太賀さん家族と共同で玉葱の播種作業を行っているところを取材させていただきました。

播種作業の合間に、これからの農業への抱負について聞くと「経営主になった時には、まずは、家族仲良く仕事をしてしっかりと経営すること。そしてどの作物においても安定して収穫できるように研究して収量で1番になれるような農家になりたい」と話され、中島さんの強い決意を感じました。

播種作業中にも関わらず、取材、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

